

I 概要

当財団は、平成24年4月1日に、公益財団法人三重県国際交流財団として新たなスタートを切り、「新しい中期計画（計画期間：平成24年度から概ね5年間）」のもと、「地域から信頼され、期待される財団」「多様な人々と共に創る多文化を尊重できる社会」を目指して、「多文化共生社会の推進」「国際交流の促進」「国際協力の拡充」の3つの事業柱で各種事業を展開しています。

平成25年度においては、とくに、大規模災害時における外国人住民等への支援及び外国人住民の医療支援などに取り組みました。

大規模災害時における外国人住民等への支援としては、多言語情報の提供、避難所での対応などが重要なことから、多言語による災害情報提供、問い合わせ及び相談対応、市町における避難所運営や避難者情報収集にかかる支援などの機能を持つ「みえ災害時多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を三重県と締結したことを受けて、様々な主体とのネットワークを活かし、協働・連携のもと災害時の外国人住民支援に向けた研修及び訓練を実施しました。

また、病院において日本語が解らずに困っている外国人及びその対応に苦慮している病院等の課題を解決するために、医療機関と連携して、ポルトガル語とスペイン語の通訳を定期的に配置することをモデル的に取り組み（国の緊急雇用創出事業を活用）、外国人住民の医療支援を推進しました。

II 実績

<公益目的事業>

1 多文化共生社会の推進に関する事業

(1) 多様な人材の育成と活動の推進

①日本語指導ボランティア育成事業【県受託事業】※コンペ

外国人住民の日本語学習を支援する者を養成すると共に、外国人住民の学習ニーズに対応できる指導者を育成することで、広範な日本語指導者の養成と拡充を図りました。

【目標】研修参加者数 60 人（研修回数 2 回） 【実績】94 人（6 回）

ア 入門研修会

地域で活動する日本語ボランティアの養成を目指し、日本語ボランティアが不足している市町を対象に入門研修を実施しました。

日 時：平成25年6月29日(土) 10:00~16:00

会 場：ワークセンター松阪

共 催：松阪市

参加者：69人

講 師：国際交流センター日本語教師養成講座講師 船見和秀さん

イ スキルアップ&コーディネーター研修会

既に日本語を教えているボランティアを対象として、外国人住民の多様なニーズに対応した指導ができるよう、能力向上のための研修を実施しました。

日 時：平成 25 年 9 月 7 日、9 月 14 日、9 月 21 日、10 月 5 日、10 月 19 日
(いずれも土曜日) 13:00~17:00

会 場：鈴鹿市男女共同参画センター ジェフリーすずか

共 催：鈴鹿市

参加者：25人

講 師：国際交流センター日本語教師養成講座講師 船見和秀さん

ウ 県内日本語教室代表者による意見交換会

日本語教室間のネットワークづくりを目的に開催しました。

日 時：平成 26 年 1 月 18 日(土) 13:00~16:00

会 場：アストプラザ

参加者：26人

講 師：東海日本語ネットワーク代表 鈴木勝代さん

公益財団法人宮城県国際化協会 大泉貴広さん

②医療通訳ボランティア事業【県受託事業】※コンペ

医療通訳ボランティアのスキルアップ研修を実施して人材育成を行うとともに、医療・保健機関等の関係者の理解を深めるため、医療通訳ボランティアの養成研修会や外国人の医療問題を考えるセミナー等を開催しました。

【目標】研修満足度 80% 【実績】85%

ア 医療通訳養成研修会の開催

医療ボランティアとして、より高度で実践的な専門知識及び心構えを備えた人材の育成を図るため、医療通訳経験者を対象とした研修会を開催しました。

(ア) ポルトガル語スキルアップ編

日 時：平成 25 年 7 月 13 日、8 月 10 日、9 月 14 日、10 月 19 日(いずれも土曜日)
第 1 回 13:00~16:15 第 2、3、4 回 10:00~16:15

会 場：三重県教育文化会館(第 1 回、第 3 回、第 4 回)アスト津(第 2 回)

参加者：14人

研修内容：「外国人が利用できる社会保障制度」、「医療通訳に求められるコンピテンシー」、「乳幼児健診、予防接種、感染症に関する基礎知識」、「国による医療文化のちがひ」、「医療用語の確認・模擬通訳」

講 師：多文化共生センターひょうご 代表 北村広美さん
三重県立看護大学 講師 山路由実子さん、福山由美さん
在名古屋ブラジル総領事館ブラジル人民委員会
Disque-Saude 電話相談プログラム 医師 中萩エルザさん

(イ) スペイン語スキルアップ編

日 時：平成 25 年 7 月 13 日、8 月 10 日、9 月 14 日、10 月 19 日(いずれも土曜日)
第 1 回 13:00~16:15 第 2、3、4 回 10:00~16:15

会 場：三重県教育文化会館（第 1 回、第 3 回、第 4 回）アスト津（第 2 回）

参加者：8 人

研修内容：上記（ア）ポルトガル語スキルアップ編に同じ

講 師：多文化共生センターひょうご 代表 北村広美さん
三重県立看護大学 講師 山路由実子さん、福山由美さん
日本赤十字九州国際看護大学准教授 エレーラ ルルデスさん

(ウ) 実施研修

日 時：平成 25 年 10 月 30 日（水）、10 月 31 日（木）、11 月 7 日（木）
第 1 回 9:00~12:00、第 2、3 回 12:45~15:00

場 所：第 1 回 三重大学医学部附属病院 第 2、3 回 鈴鹿市保健センター

参加者：ポルトガル語 10 人、スペイン語 4 人

講 師：在名古屋ブラジル総領事館ブラジル人民委員会
Disque-Saude 電話相談プログラム 医師 中萩エルザさん
三重大学医学部附属病院 ポルトガル語医療通訳 ワキモト隆子さん
（公財）三重県国際交流財団 ポルトガル語医療通訳 フランシスカ モニカ
// スペイン語医療通訳 杉本パウロ

イ 外国人医療について考えるセミナーの開催

外国人医療の現場における課題や対応について理解を深めるとともに、今後の外国人医療関係者のネットワークづくりを図りました。

日 時：平成 26 年 1 月 19 日(日) 13:30~16:50

会 場：アストプラザ

共 催：三重県医療ソーシャルワーカー協会

参加者：39 人

内容及び講師：

「派遣通訳と常駐通訳による効果」

医療通訳者ネットワーク東海（MINT） 事務局長 伊藤美保さん

「県内医療通訳派遣事業による活動紹介、実績発表」

（特活）伊賀の伝丸 代表理事 和田京子さん

「病院常駐通訳事業紹介、実績発表」

（公財）三重県国際交流財団 国際教育課長 宇藤美帆

ウ 医療通訳派遣制度の普及

医療機関に対する制度の広報や、外国人患者からの要請にも対応し通訳を派遣する等の取り組みにより、制度の普及を図りました。

派遣実績：医療通訳派遣件数 13件 制度利用8機関

エ 外国語対応可能な医療機関の情報提供

医療ネットみえと連携して、外国語対応可能な医療機関に関する情報をホームページで提供しました。

実数 639

(内訳(延数) 医療機関数：英語 525、ポルトガル語 18、中国語 31、スペイン語 15ほか

③医療通訳システムモデル事業【県受託事業】※コンペ

ポルトガル語やスペイン語などの通訳のニーズが多く、通訳の雇用を検討している医療機関等においてモデル的に通訳を配置しました。その結果、医療通訳の必要性和有用性が検証され、医療機関等における継続的な通訳配置につなげました。

【目標】医療通訳を利用する医療機関数 4機関 【実績】10医療機関等

ア 通訳配置医療機関等(言語)

桑名東医療センター(スペイン語)、桑名西医療センター(スペイン語)、三重県立総合医療センター(ポルトガル語)、市立四日市病院(ポルトガル語)、鈴鹿中央総合病院(ポルトガル語)、鈴鹿回生病院(スペイン語)、塩川病院(ポルトガル語)、三重大学医学部附属病院(スペイン語)、三重中央医療センター(スペイン語)、鈴鹿市保健センター(ポルトガル語、スペイン語)

イ 雇用した医療通訳者等

ポルトガル語2名、スペイン語3名、医療通訳コーディネーター1名

ウ 通訳件数

2,205件

エ 26年度以降も医療通訳の配置を継続する医療機関(言語)

桑名東医療センター(スペイン語)、三重県立総合医療センター(ポルトガル語)、市立四日市病院(ポルトガル語)、鈴鹿中央総合病院(スペイン語)、鈴鹿市保健センター(ポルトガル語、スペイン語)

④災害時外国人住民支援事業【県受託事業】※コンペ

災害時における外国人住民への情報提供等を支援するため、広域連携を目的とした図上訓練を行うとともに、災害時外国人サポーター研修、外国人住民に対する防災セミナーを実施し、自助・共助などについて理解を深めました。

【目標】研修参加者数 100人 【実績】163人

ア 外国人住民を対象とした避難訓練

防災情報が十分届いていない外国人住民に対し、災害への備えについて母語で伝えることにより、減災に向けた取組みを進めました。

第1回

日時：平成25年11月18日（月）14:00～21:00

会場：鳥羽市民文化会館

共催：鳥羽市、鳥羽市社会福祉協議会

参加者：29人

内容及び講師：

「災害から身を守る方法などを知る」 鳥羽市防災危機管理室長 井上裕一さん

「津波避難所まで歩く」 同上

「ワークショップ」 鳥羽市社会福祉協議会 前田康裕さん、ほかボランティア

第2回

日時：平成26年2月23日（日）10:00～15:00

場所：伊賀市立上野東小学校

共催：伊賀市

参加者：40人

内容及び講師：

「災害への備えと避難所について」 伊賀市総合危機管理室

「簡易コンロ、段ボールトイレ作り」 伊賀市社会福祉協議会

イ 災害時外国人サポーター研修

災害時に市町単位で外国人住民への対応や支援ができる人材を養成する研修会を実施しました。

第1回

日時：平成25年11月24日（日）10:00～15:00

会場：鳥羽市民文化会館

共催：鳥羽市、鳥羽市社会福祉協議会

参加者：16人

内容及び講師：

「鳥羽市の被害想定」 鳥羽市防災危機管理室長 井上裕一さん

「災害時に外国人住民が直面する課題とサポーターに求められる役割について」

「避難所運営訓練・ふりかえり」

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行さん

第2回

日時：平成26年2月23日（日）10:00～15:00

会場：伊賀市立上野東小学校

共催：伊賀市

参加者：34人

内容及び講師：

「災害時に外国人住民が直面する課題とサポーターに求められる役割について」
「避難所運営訓練・ふりかえり」

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行さん

ウ 大規模災害時を想定した県域での多言語情報提供に特化した図上訓練

仮想被災市町や県災対本部と連携して「みえ災害時多言語支援センター」の運営訓練を実施しました。

日 時：平成 26 年 2 月 9 日（日）10:00～15:00

会 場：みえ県民交流センター

参加者：44 人

内容及び講師：

「三重県の被害想定、避難所の役割について」

三重県防災企画・地域支援課 防災技術指導員 西川実雄さん

「災害時に外国人が直面する課題と外国人支援について」

「図上訓練・ふりかえり」

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行さん

エ 避難所情報伝達キットの普及

キット貸出件数：7 件

⑤財団パートナー制度運営事業

通訳・翻訳、日本語学習支援、医療通訳（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語）、災害時の外国人住民支援の4分野において、当財団と同じ目的意識を持つ多様な人材を「パートナー」として広く募集し、各分野の活動の推進を図るしくみを運営しました。

【目標】 パートナー登録者数

通訳・翻訳 130 人、日本語 60 人、医療通訳 45 人（ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語各 15 人）、災害 45 人

【実績】 通訳・翻訳 248 人、日本語 100 人、医療通訳 15 人（ポルトガル語 9 人、スペイン語 5 人、英語 1 人）、災害 46 人

ア 財団パートナー交流会

日 時：平成 25 年 8 月 11 日（日）13:00～16:30

参加者：32 人

イ 通訳・翻訳パートナー

利用件数

通訳件数：166 件 パートナー活動者延人数：178 人

翻訳依頼：115 件 パートナー活動者延人数：159 人

ウ 日本語パートナー

コーディネート件数：7件

エ 医療パートナー

(ア) 医療パートナー養成講座

日時：平成25年7月13日(土)、8月10日(土) 10:00~16:15

言語：フィリピン語、英語、中国語

参加者：14人

(イ) 医療パートナー(ポルトガル語、スペイン語、英語)派遣

派遣件数：13件

オ 災害パートナー

災害時の通訳・翻訳研修

日時：平成25年12月15日(日) 10:00~16:00

参加者：21人

内容及び講師：

「みえ災害時多言語支援センターについて」 三重県多文化共生課長 中谷恵子さん

「災害時の通訳(電話対応を含む)・翻訳の流れおよび留意点」

「翻訳研修」 多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行さん

(2) 多文化共生の地域づくり支援

① 災害時多言語支援センターにかかる運営委員会の開催

県内における大規模地震等発生時に外国人住民等を支援する「みえ災害時多言語支援センター」の運営について、実践かつ実務的な検討の場を設けました。

【目標】 運営委員会開催回数 4回 【実績】 6回

ア 運営委員会の開催：3回

イ 研修会の開催(災害時の通訳翻訳研修)：1回

ウ 有識者からのアドバイス：2回

② 避難所運営訓練事業【伊勢市受託事業】

外国人雇用企業や外国人とつながりのある団体等と連携して、外国人住民と地域住民が共に災害時の避難所運営や支援活動、多言語での情報提供などについて学ぶ研修会等を開催し、当該地域における地域防災力の向上を支援しました。

【目標】 研修会等参加者 100人 【実績】 145人

ア 企画会議の開催

開催回数：3回

出席者：伊勢市内の外国人雇用企業、外国人とつながりのある団体、災害時の避難所運

営に関係する市関係部局

イ 外国人住民をサポートするための避難所運営訓練

日 時：平成 25 年 11 月 2 日（土）11:00～15:00

参加者：84 人

内容及び講師：

「避難所における外国人被災者支援について」「避難所運営訓練・ふりかえり」

多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行さん

ウ 外国人を対象とした避難所説明会

日 時：平成 26 年 1 月 25 日（土）13:30～15:30

参加者：61 人

内容及び講師：

「避難所について」「自分の防災マップを作る」「伊勢市防災メール等への登録」

伊勢市危機管理課長 中居 渉さん

エ 災害時情報伝達網の作成（13 企業・団体）

オ 伊勢市版情報伝達キットの作成：8 セット

③外国人市民向け防災セミナー事業【四日市市受託事業】

自治会や防災啓発活動を実施する市民団体、外国人団体等と連携して外国人市民向け防災セミナーを開催し、当該地域における地域防災力の向上を支援しました。

【目標】セミナー等参加者数 60 人 【実績】101 人

ア 笹川地区

日 時：平成 25 年 10 月 12 日（土）12:00～16:00

参加者：51 人

内容：防災についての講義と『防災ノート』の紹介、救護のための止血法・固定法および簡易担架作りの実習、簡易スリッパおよび合羽、帽子の作り方

イ 中部地区

日 時：平成 25 年 9 月 29 日（日）15:30～16:15

参加者：50 人

内容：災害時の行動・情報収集についての説明および身近なものを用いた止血法・骨折時の固定方法の実習

④防災ノート作成事業【四日市市受託事業】

ポルトガル語、英語版の外国人住民向け防災ノートを作成しました。

（3）外国人相談体制の充実

①外国人住民総合ヘルプデスク事業【県受託事業】※コンペ

多言語で外国人住民の相談に対応するとともに、外国人住民が抱える生活上の諸課題をテー

マに、外国人相談窓口担当者の研修会や通訳付きの専門家相談会等を開催することを通して、外国人住民の安全・安心な生活を支援しました。また、みえ災害時多言語支援センター運営のための図上訓練等を通じて、大規模災害時の多言語対応について検討・検証をしました。

【目標】 相談件数 800 件

出前講座回数（延べ参加者数）：6 回（200 人）

個別（専門）相談会回数（延べ利用者数）：7 回（110 人）

窓口担当者研修会回数（延べ参加者数）：3 回（60 人）

【実績】 相談件数 896 件

出前講座回数（延べ参加者数）：8 回（226 人）

個別（専門）相談会回数（延べ利用者数）：7 回（110 人）

窓口担当者研修会回数（延べ参加者数）：3 回（69 人）

ア 多言語相談の実施：8 言語（ポルトガル語、スペイン語、英語、フィリピン語、中国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語）

国籍別相談件数

国 名	件数	割合(%)
ブラジル	446	49.8%
ペルー	192	21.4%
フィリピン	102	11.4%
ボリビア	38	4.2%
タイ	21	2.3%
日本	45	5.0%
中国	16	1.8%
ベトナム	3	0.3%
アメリカ	2	0.2%
スリランカ	1	0.1%
インドネシア	1	0.1%
その他	17	1.9%
不明	12	1.3%
合計	896	100%

内容別相談件数

相 談 内 容	件数	割合(%)
医療・福祉	223	24.9%
就労	158	17.6%
教育・文化	139	15.5%
暮らし・住まい	87	9.7%
財団・団体・ボランティア	76	8.5%
結婚・離婚・国籍	53	5.9%
出入国・在留関係	41	4.6%
犯罪・法律	32	3.6%
自動車	32	3.6%
領事館・外務省	27	3.0%
税金	15	1.7%
その他	13	1.5%
合計	896	100%

イ 出前講座

第 1 回

日時：平成 25 年 6 月 16 日（日）13:00～16:00

場所：鈴鹿市役所

参加者：47 人

テーマ：子どもの未来を考えてみよう！

講師：鈴鹿市健康づくり課 伊藤京子さん、望月寿子さん

ファイナンシャルプランナー 福島佳奈美さん

フィリピン英語講師（F E T Jー三重）ロサナ パチリアさん、西村カテリンさん、
ベンジャミン ブエナベンツラさん

第2回

日時：平成25年7月14日（日）15:00～17:00

場所：桑名市修徳公民館

参加者：23人

テーマ：地震・風水害から命を守る

ー私たちの家族と地域（コミュニティ）を災害から守りましょうー

講師：桑名市防災・危機管理課 指導員 藤井一隆さん

第3回

日時：平成25年9月21日（日）13:30～15:30

場所：UR中央第1集会所

参加者：31人

テーマ：ライフプラン、未来のために目標を立てよう！

講師：ファイナンシャルプランナー 福島佳奈美さん

第4回

日時：平成25年9月29日（日）14:00～17:00

場所：亀山青少年研修センター

参加者：33名

テーマ：人とのつながりを広げ、より豊かな人生を送るために日本語を学ぼう！

講師：日本語講師 浦山美和子さん、ハローワーク鈴鹿 高木俊宏さん

第5回

日時：平成25年10月20日（日）11:00～12:00

場所：松阪市産業振興センター

参加者：4人

テーマ：国際結婚～もし離婚したら～

講師：稲垣行政書士事務所 稲垣正文さん

第6回

日時：平成25年11月24日（日）12:30～14:00

場所：コミュニティセンター林

参加者：26人

テーマ：あなたの家の準備は大丈夫ですか？～災害についてよく知り、準備をしましょう！

講師：尾鷲市防災危機管理室 総合防災係長 福嶋直弥さん

第7回

日時：平成26年2月9日（日）10:00～12:00

場所：牧田コミュニティセンター

参加者：29人

テーマ：病気を予防し、健康な生活を送るために～？

～自分の健康度をチェックしてみよう～

講師：三重県立看護大学 講師 山路由実子さん

第8回

日時：平成26年3月23日（日）13:30～15:30

場所：おわせサンプラザ

参加者：33人

テーマ：できることから始めよう！できることって何だろう？

～東日本大震災の経験を南海・東南海・南海トラフ巨大地震の備えにいかす～

講師：公益財団法人宮城県国際化協会次長兼企画事業課長 大村昌枝さん

災害時登録通訳人 佐々木アメリカさん

相談員 庄司マリーンさん

参加者合計 226人

ウ 専門家による個別相談会

日本語が十分でない外国人住民を対象に、専門家のアドバイスが必要とされる生活相談について、8言語（ポルトガル語、スペイン語、英語、フィリピン語、中国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語）による相談会を実施しました。

（ア）法律関係5回

開催日：平成25年6月23日、8月18日、10月20日、平成26年2月9日、3月2日（いずれも日曜日）

場所：アスト津（2回）、松阪市産業振興センター、牧田コミュニティーセンター、上野ふれあいプラザ

相談時間：1件60分、事前聞き取り5分

相談関係機関：法律関係 三重弁護士会、三重県行政書士会、
社会保険関係 三重県社会保険労務士会

参加者：96人

（イ）こころ・健康の相談

開催日：平成25年11月16日（土）、平成26年2月9日（日）

場所：四日市市総合会館、牧田コミュニティーセンター

相談時間：1件90分、事前聞き取り5分

相談関係機関：三重県臨床心理士会、三重県立看護大学

参加者：14人

参加者合計 110人

エ 外国人相談窓口担当者研修会

外国人相談窓口担当者の知識を深め、担当者間で顔の見える関係を構築するとともに、より信頼できる相談体制と災害時の情報提供のためのネットワークを築くことを目的として研修会を実施しました。

第1回

日時：平成25年7月19日（金）10:00～16:00

場所：みえ県民交流センター

参加者：25人

テーマ：多文化ソーシャルワーカー、災害について

講師：犬山市役所 多文化共生推進員 大島ヴィルジニアさん
多文化共生マネージャー全国協議会理事 高橋伸行さん

第2回

日時：平成25年10月2日（水）10：00～16：00

場所：みえ県民交流センター

参加者：25人

テーマ：外国人に係る労働トラブル～労働相談時に役立つ知識～

講師：三重労働局労働基準部労災補償課 地方労災補償監察官 松本 浩さん
小山社労士事務所 小山千景さん

第3回

日時：平成25年12月3日（火）13：00～16：00

場所：みえ県民交流センター

参加者：19人

テーマ：外国人の保健医療に関する制度と運用

講師：外国人医療センター（MICA）理事・事務局長 藤田紀見さん

参加者合計 69人

②ブラジル移動領事館の開催協力

在名古屋ブラジル総領事館が主催する「ブラジル移動領事館」の開催にあたり、広報及び当日の運営等に協力をしました。来場者数 420人

③労働相談室電話相談通訳事業【県受託事業】

県が実施する「労働・相談」における通訳依頼を受け、三者通訳を実施しました。

ポルトガル語：18件（239分） スペイン語：7件（131分）

④県営住宅に入居する外国人入居者等への指導管理業務【県受託事業】

ポルトガル語：2件（55分） スペイン語：1件（10分）

（4）多文化共生教育の推進

①多文化共生教育センター事業

外国につながりを持つ園児・児童・生徒の自己実現のため、以下の取組みにより教育現場における多文化共生教育の促進を支援しました。

【目標】HPにおける学習教材等の紹介の充実（市町教委分）

【実績】現在、新しい教材等の情報収集中。今後HPの充実を図る。

ア 多文化共生教育センター（みーく）の運営

各種日本語教材・学校通知文例集等、県内外の国際教育・日本語指導を行う学校等の情報を収集し発信するとともに、日本語指導教材・書籍等の収集及び開架を行いました。

イ 高校進学ガイドブック多言語版の作成

高校進学ガイドブック多言語版（9言語）を作成しました。

②日本語教材、日本語指導教材の研究・開発・発行

外国につながりを持つ子どもたち及び初期日本語学習を担当する教職員等のために、日本語の発音を身につけるための教材として「形容詞の絵カード」を作製しました。

【目標】『新版 いっしょにまなぼう みえこさんのにほんごれんしゅうちょう1』の聴解教材、及び「形容詞の絵カード」の作製・発行

【実績】「形容詞の絵カード50」の作製・発行

③外国につながりを持つ子どもたちの教育実践研究会

日本語指導担当教員等（国際教室担当、教科担当、学級担任等）が、外国につながりを持つ子どもたちの教育指導上の課題を解決するため、実践研究会を開催しました。

【目標】4回開催、1回あたりの参加者数35人

【実績】4回開催、1回あたりの参加者数23人

(5) 相互理解促進

①多文化共生啓発事業

県域で実施される多文化共生啓発イベント等の共催や協力、後援などを行うことを通じて、多文化共生社会づくりに貢献しました。

【目標】 連携（共催、協力、後援）数 20件 【実績】 16件

ア 三重県多文化共生啓発事業実行委員会の一員として「多文化共生イベント」に参画し、ブース出展により多文化共生社会づくりのための取り組みを紹介しました。

開催日：平成25年12月7日（土）

会場：亀山西小学校

参加者：480人

イ 鈴鹿国際大学・三重大学・四日市大学及び（特定非営利活動法人）みえNPOネットワークセンターで構成する企画会議に参画し、多文化理解イベントリレー「Hand in Hand みえの地球市民2013」にブースを出展し、多文化共生社会づくりのための取り組みを紹介しました。

開催日：平成25年12月18日（水）、20日（金）、21日（土）

会場：三重大学、鈴鹿国際大学、みえ県民交流センター

参加者：約580人

②国際理解促進事業

IATSSフォーラムが実施した文化交流会に協力し、多文化共生や国際理解への関心を高めました。

【目標】 アンケートによる満足度 85%以上

【実績】 (主催事業から事業協力へ変更のため未実施)

開催日：平成 25 年 10 月 5 日 (土)

会 場：IATSS フォーラム事務局 (鈴鹿サーキットホテルサウス棟内)

参加者：約 60 人

2 国際交流の促進に関する事業

(1) 学校間交流の促進

韓国高校生交流事業

韓国と日本の高校生が、相互の学校や家庭、及び地域での生活を経験し、交流することを通じて相互理解を深めることを目的として実施する県立津商業高校と韓国聖南高校、及び県立昂学園高校と韓国養正高校の学校間交流を支援しました。

【目標】 学校間交流参加者の満足度 80%以上 【実績】 80%以上

(2) 情報提供・情報発信の強化

① 国際交流団体調査

地域の国際化の促進や情報提供に役立てるため、県内で多文化共生推進、国際交流・国際協力活動などを行なう市民団体の活動状況を把握し、財団ホームページで情報を提供しました。

【目標】 情報更新 年1回 【実績】 更新 年1回

平成25年度末のホームページ掲載団体数 132件

② インターネットによる情報提供・情報発信

当財団の事業・サービスに関する最新情報、及び多文化共生の推進・国際交流の促進・国際協力の拡充に関する有益な情報を、財団ホームページにおいて多言語で紹介しました。

対応言語：ポルトガル語・スペイン語・フィリピン語・英語・中国語・日本語の6言語

【目標】 アクセス件数 31,000 件 (6言語) 【実績】 21,190 件

③ 機関誌 (MIEF NEWS) の発行

当財団の事業内容の紹介・報告を中心に、地域の多文化共生推進に有益な情報を掲載し、賛助会員をはじめ国際交流団体、学校、行政機関等へ幅広く配布し、県内の国際化の推進に寄与しました。(発行回数 年3回)

【目標】 取材・投稿記事掲載数 9 件 【実績】 9 件

発行回数：年 3 回 (6 月、12 月、3 月)

発行部数：日本語 3,200 部 (6 月、12 月、3 月)

配布先：賛助会員、国際交流団体、行政機関、幼稚園、学校等 1,776 か所

④ 図書資料の整備、その他情報収集提供

小さなブラジル図書館をはじめ、国際交流・異文化理解・国際協力や外国情報等に関する図書・情報を収集し、みえ県民交流センターにおいて提供しました。

【目標】ブラジル図書貸出冊数 60冊 【実績】122冊

3 国際協力の拡充に関する事業

(1) 友好関係国等の事業支援

① パラオ青少年育成事業

三重県とパラオ共和国との友好提携を機に、財団に寄贈された「パラオ青少年育成基金」の果実により、パラオ共和国青少年の育成を支援しました。

【目標】ホームページ等において支援内容を公開

【実績】ホームページ等において支援内容を公開

② 在外県人会連絡活動支援

寄贈された「在外県人会活動支援基金」の果実により、移住者等で構成されるブラジルやアルゼンチンにおける三重県人会の活動を支援しました。

【目標】ホームページ等において支援内容を公開

【実績】ホームページ等において支援内容を公開

(2) 国際人材の育成

① 留学生支援奨学事業【県委託事業】

三重県が給付する私費海外留学生奨学金、私費外国人留学生奨学金及び医療系・看護系外国人学生奨学金制度の周知を図るとともに、奨学生の募集選考、支給審査等を行いました。

私費外国人留学生奨学金奨学生及び私費海外留学生奨学金奨学生を対象とした集いを開催するとともに、県内における地域活動等への参加を促し、多文化共生の推進につなげました。

また、日本人奨学生からは、海外での研究・生活情報の提供を受け、ホームページ等で広く県民に提供することにより、国際理解や留学を啓発しました。

【目標】奨学生の体験記HP掲載率 100% 【実績】100%

② 海外日本語教師研修サポート事業【県委託事業】

海外の日本語教師を受け入れ、県内の日本語学校や外国人集住都市の公立学校等での実務研修により、日本語教育技術のレベルアップを図るとともに、県民等との交流を通じて三重県の経済・文化等についての理解を促しました。

特にブラジルからの研修生には、県内のブラジル人児童・生徒を取り巻く環境をも認識させることにより、ブラジルへ帰国した児童・生徒のケアの向上につなげました。

【目標】研修員の満足度 80%以上 【実績】85%

<法人事業>

(1) 理事会の開催

第1回通常理事会

開催日：平成25年6月5日（水）

場 所：みえ県民交流センター

議 案：平成24年度事業報告及び決算について
役員の退任に伴う改選候補者について
定時評議員会の招集について

報 告：平成25年度第1回職務執行状況の報告について

『みえ災害時多言語支援センター』の設置・運営に関する協定等について

第2回通常理事会

開催日：平成26年3月3日（月）

場 所：アストプラザ

議 案：平成25年度補正予算について

平成26年度事業計画及び当初予算、資金調達及び設備投資の見込みについて
定時評議員会の招集について

報 告：平成25年度第2回職務執行状況の報告について

臨時理事会（決議省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成25年6月19日（水）

議 案：常務理事の選定について

(2) 評議員会の開催

第1回定時評議員会

開催日：平成25年6月19日（水）

場 所：アストプラザ

議 案：平成24年度決算について
評議員の退任及び選任について
理事の退任及び選任について

報 告：平成24年度事業報告

第2回定時評議員会

開催日：平成26年3月18日（火）

場 所：みえ県民交流センター

報 告：平成25年度補正予算について

平成26年度事業計画及び当初予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

(3) 市町国際交流協会連絡会議の開催

市町の国際交流協会をメンバーとする連絡会議を開催し、情報共有を行いました。

日 時：平成 25 年 6 月 25 日（月）

場 所：みえ県民交流センター

出席者：12 人（四日市国際交流センター、（公財）鈴鹿国際交流協会、伊勢市国際交流協会、玉城町国際交流協会、伊賀市国際交流協会、三重県多文化共生課）

（4）賛助会員の募集

財団の趣旨に賛同し、国際化推進事業を支援していただける賛助会員を募集しました。

平成 25 年度賛助会員数

個人会員（パートナー会員を含む。）

年会費 1 □ 1,000 円～3,000 円 101 人（前年度 126 人）

団体会員

年会費 1 □ 12,000 円 36 団体（前年度 34 団体）

事業報告の附属明細書

平成 25 年度事業報告の内容を補足する重要な事項は特にありません。